

議会トピックス

議場に「対面式演壇」や「大型スクリーン」等を導入

6月定例会市議会から、議員と市長等の執行部が直接向き合って質問や答弁を行う対面式演壇を本格的に導入し、これまで以上に緊迫感のある本会議になるとともに、150インチの大型スクリーンと55型の液晶モニター2台を新たに設置し、傍聴者のみなさまにご覧いただけるようになりました。

ぜひ傍聴席から本会議を体感してみてください。

本会議の傍聴については市議会ホームページをご覧ください。

また、本会議の様子はインターネットで生中継・録画中継しています。



常任委員会審査から

審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

総務委員会

平成25年度岡山市一般会計補正予算（第1号）ほか3件の議案が付託され、いずれも全会一致で可決並びに同意すべきものと決定した。

保健福祉委員会

■岡山市子ども・子育て会議を設置

—平成24年に公布された子ども・子育て支援法の規定に基づき、岡山市子ども・子育て会議を設置するため、条例を制定する—

委員 会議の委員については、公募も積極的に行っていくのか。

市 委員については、広く市民の意見を聴くことを考慮して、公募も含めて決めたい。

委員 今後の具体的な開催予定は。

市 議決が得られた後に早急に

準備を進め、8月下旬には第1回目の会議を開催したい。

委員 児童福祉法第24条第1項に、保育に欠ける児童は、保護者から申し込みがあった場合、保育所において保育しなければならないと市の責任が明記されているが、認定こども園においても、今までと変わらず市の責任を果たしていくのか。

市 認定こども園についても、市として保育に責任を持つことは変わらない。

委員 市の責任をこれまでどおり堅持し、保育園に入れないうちを減らしていくことを最優先としながらも、保育の質は落とさないようにしてもらいたい。

環境消防水道委員会

■損害賠償請求訴訟の和解

—大気常時監視自動計測器の購入契約における、測定器メーカ

—らの独占禁止法違反行為に対する損害賠償請求訴訟について、岡山地方裁判所から、被告3社のうち2社との間で、和解金の支払いを受けることにより訴訟を終結させる和解勧告がなされ、これを受諾する—

委員 平成20年11月に公正取引委員会が排除措置命令を行ってから、市が損害賠償請求の訴えを提起するまでに、約3年半も経過しているのはなぜか。

市 当時は、契約の相手方が談合をしたメーカーではなく、独占禁止法上の排除措置命令を受けない代理店であったため、損害賠償請求が難しいのではないかと考えていた。しかし、独占禁止法ではなく、民法上の共同不法行為により損害賠償請求ができるということで、排除措置命令を受けてから、時効となる3年を経過する前に損害賠償請

求を行って、時効を中断した。その後、半年間ほど協議を続けたが、整わなかったので、訴えの提起を行った。

委員 和解勧告がなされていない残りの被告1社については、訴訟を続行するということだが、今後の流れは。

市 市の損害額が実際幾らだったのかが今後の争点となり、それぞれが主張、立証していくことになる。25年度中には結果が出る見込みである。

経済委員会

■ため池の耐震点検と整備計画の策定

—平成25年10月末までに実施される市内780カ所のため池一斉点検の結果を踏まえ、耐震点検を実施する25カ所を選定し、その結果を受けて整備が必要と判断されるため池5カ所について整備計画を策定する—

委員 耐震点検の結果を受けて整備計画を策定するというが、25年度内に完了できるのか。

市 耐震点検箇所は一斉点検の結果を順次判断した上で選定していく。耐震点検の結果を踏まえ、整備計画策定へ順次移行することで年度内に実施できるよう進めていきたい。

委員 想定を超える数の耐震点検が必要となった場合は、どうするのか。

市 現在のところ、27年度までの補助事業として国から示されており、25カ所を超える場合は、26年度以降もこの事業を活用して点検するよう努めていきたい。

委員 漏水などで緊急対応が必要な事例を把握した場合には、どう対応するのか。

市 危険な状況を把握した場合には、補修対応を行い、改修の事業化までに崩壊等が起こらないよう維持していきたい。

建設委員会

岡山市公園条例の一部を改正する条例の制定ほか60件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。



現地建て替え予定の東山斎場

市民文教委員会

■東山斎場の再整備

—設計と施工を一括して発注するDB（デザインビルド）方式で実施することが最適であると判断し、事業者の公募、選定、契約に必要なアドバイザリー業務を委託する—

委員 DB方式における業者の選定過程には課題がある。これまでの経験を生かして留意することはあるのか。

市 既存施設を稼働させながら現地建て替えを行うため、利用者の安全性に最大の注意を払う必要があるとともに、火葬炉と建屋を一体的に整備し、市民にとっていい施設が安価でできるようにDB方式としている。そのため、アドバイザリー業務を委託しようとするものであるが、

事業については今後もきちんと委員会に説明、報告しながら進めていく。

市 議 会 日 誌

【4月】

26日 防災・危機管理等調査特別委員会

【5月】

2日 ワークライフバランス調査特別委員会

14日 議会運営委員会

16日 5月臨時市議会

保健福祉、環境消防水道、建設、

市民文教委員会

議会運営委員会

17日 5月臨時市議会

総務、保健福祉、環境消防水道、

経済、建設、市民文教委員会

17日 都市活力・大都市制度調査、E S D・低炭素社会調査、公共施設マネジメント調査、市民協働・男女共同参画調査特別委員会
議会運営委員会

【6月】

6日 議会運営委員会

7日 環境消防水道、経済、建設、

市民文教委員会及び同協議会

10日 総務、保健福祉委員会及び同協議会

11日 6月定例市議会開会日

17日～24日 33人の議員による個人質問

20日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

25日 総務、保健福祉、環境消防水道、

経済、建設、市民文教委員会

議会運営委員会

27日 議会運営委員会

28日 6月定例市議会最終日

【7月】

1日 E S D・低炭素社会調査特別委員会

2日 都市活力・大都市制度調査特別委員会

3日 公共施設マネジメント調査特別委員会

12日 議会運営委員会